

歌壇

大下一真選

特選

パリ、ローマ装い歩く春の日を想う書店の旅のコーナー

小石川 堀口 恵子

亡き父の音の外れし「赤とんぼ」聞きたく思う故郷の畔

千駄木 伊藤 惠津子

寝返れば弾んで涼し水枕熱帯夜の夢海へ誘う

千駄木 上杉 紀世子

入選

九十六歳ホントよ一人言いいて厨に立ちてまず包丁を研ぐ

千駄木 石井 禮子

シルバーパス手にした妻は遠出して珍しき菓子求め帰り来

千 石 菊地 正矩

夕空に拳みたいな雲のあり忘れられたるごとくぽつんと

本駒込 唐木 よし子

父よりも五歳母より十五歳越えて米寿を迎える吾は

向 丘 高野 伸子

ベランダの手すりに触れる百日紅わが籠り居を慰めて咲く

大 塚 小出 風沙子

居酒屋の「雛」という名に誘われて入りて見れば軍鶏似の親爺

小日向 内野 仙也

裾まくり波打ち際で蟹とらう幼き頃と同じ姿で

関 口 中川 良二

令和2年度 第3回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

俳壇

松澤 雅世 選

特選

風のままどこへゆくやら秋の蝶

千駄木 江川 盾雄

琴線に触れた夜長よお猪口酒

本駒込 関口 けい子

夕闇に熱あるごとき白芙蓉

千石 菊地 正矩

入選

足裏に草のぬくもり秋暑し

大塚 奥山 興悦

秋の日やワニも鳴くとふパイヒヨロロ

音羽 黒坂 進

死に仕度せよとかしまし蝉の声

大塚 小出 風沙子

東大もリモートなりし秋の風

本郷 外川 喜美恵

白粉花老女の記憶呼び覚まし

千駄木 仲 綾子

コロナ禍のマスクおしやれの一つかな

小石川 中野 千鶴子

石仏の鑿の呼吸いわし雲

向丘 丸岡 正児